



【日時】	2025年1月18日（土）14：00～17：00（受付13：30～）
【開催場所】	岡山済生会総合病院 管理棟4階さいゆうホール
【テーマ】	医師事務作業補助者のレベルアップ～臨床調査個人票を学ぼう！～
【参加人数】	〔会員〕 30名 〔一般〕 14名 〔講師〕 2名 〔スタッフ〕 14名

開会の挨拶

岡山県支部 顧問 土井 章弘（岡山旭東病院 総院長）



これから一層医療DXの活用が進み、AI問診、電子カルテの共有化などさまざまなシステムが導入され、医療の質、効率性、安全性が向上していくと思われます。その中で医師事務作業補助者も医療チームの重要な一員としてさらなる活躍への期待・激励のお言葉を頂きました。

講演 『臨床調査個人票の記載について』

岡山県保健医療部医薬安全課 特定保健対策班 主任 片山 亜弓



片山先生より「指定難病とは」「認定の流れ」「臨床調査個人票記載方法」「指定難病データベース」についてご講演いただきました。指定難病の申請から認定までの流れ、記載のポイント、記載漏れが多い箇所など細かく説明いただきました。今後の作成業務に活かせる講演内容でした。

講演 『医療DXによる指定難病患者及び小児慢性特定疾病児童等データベースについて』

岡山県保健医療部医薬安全課 特定保健対策班 主任 和田 好未



和田先生より、電子カルテや文書管理システムなど院内システムとの連携、自動計算、入力漏れチェック、臨床支援士との連携効率化など、医師の入力負荷軽減に繋がるシステムについて知ることができました。

グループディスカッション 45分間×2回

「診断書」「外来業務」「病棟業務」「登録業務」「教育」「マネジメント」



1時間30分（45分間×2回）の時間を確保しました。テーブルごとにテーマを設けて行いました。県内外から多くの実務者、関係者らにご参加いただき、自由な意見交換・交流が活発に行われました。病床数や担当の診療科、勤務年数などに違いがあっても業務内容や悩みなどを共有することができました。新たな発見や理解が深まるものとなりました。

閉会の挨拶

岡山県支部 支部長代理 武 靖（水島中央病院）



岡山県支部長代理の武靖より当協会を紹介後、これまでの岡山県支部の活動報告を行いました。岡山県独自の内容が含まれることから参加者の多くは岡山県の方々でしたが、遠方からの参加もあり、活発な意見交換ができたと思います。今後も岡山県支部ではより良い企画・運営に努めていきたいと述べました。併せて世話人もどしどし募集中です。



岡山県支部では世話人を募集しています。当協会の趣旨にご賛同いただき、一緒に楽しく企画・運営していただける方がおられましたら、ぜひご連絡ください。世話人一同、新しい仲間をお待ちしています。

【報告者】 岡山県支部 支部長代理 武 靖（水島中央病院）